

株式会社ピーシー・ブレイン 047-311-6677

☆今月のメニュー

□今月のトピック

Yahoo! とマイクロソフト  
が検索事業で提携

□活用講座

ホームページで動画を利  
用する

□ワンポイント解説

ストリーミングとダウン  
ロード

□お知らせ

SEO 診断レポートサービス

ホームページ活用講座

動画を利用する

- ◆ 動画とは
- ◆ 動画を使うメリット
- ◆ ホームページの動画の特性
- ◆ 動画を使うためには
- ◆ 動画の活用事例

今年は梅雨明けした後もすっきりしない天気の日が多いですね。  
せつかくの46年ぶりの皆既日食も天気の悪いところが多く、生で肉眼で見られた人はラッキーだったようです。

こんにちは、ピーシー・ブレインの高山です。

さて、ホームページの活用方法を中心とした「WEB マーケティングのヒント」というタイトルで、お役に立つ情報をお届けいたします。

## 今月のトピック

### ■Yahoo!とマイクロソフトが検索事業で提携

新聞・テレビなどでも報道されていますが、米国 Yahoo!と米国 Microsoft は、7月29日検索事業における向こう10年間の業務提携について合意に達したと発表しました。

この提携では、現在 Yahoo!で使用されている検索技術 YST(Yahoo Search Technology)に代わって、マイクロソフトの Bing が採用されることとなります。

また、検索広告のベースも現在オーバーチュアが採用しているシステムから、マイクロソフトの adCenter システムに切り替わります。

今回の発表は米国内でのサービスに関するもので、日本の Yahoo!の場合はソフトバンクが株主であるなど状況が異なりますが、これまでの Yahoo!サービスの変遷を考えると日本国

内のサービスについても同様に順次適用されて行くと予想されます。

この提携が実現すると、これまでの Yahoo!向けの SEO 対策には大きな影響を与えることとなります。テクニク的には、YST 向けに最適化内容を Bing 向けに修正するなどが必要ですが、まだ情報は多くありません。

ただ確実に言えるのは、いままで以上に本質的・基本的な SEO 対策が重要になっていくことです。SEO 業界ではとても注目されています。

### ■関連情報

・Microsoft、Yahoo!提携に関する特設サイト(英文)  
<http://www.choicevalueinnovation.com/>

・Bing(Microsoft)  
[http://www.microsoft.com/japan/presspass/detail.aspx?newsid=3698&rss\\_fdn=New+Info](http://www.microsoft.com/japan/presspass/detail.aspx?newsid=3698&rss_fdn=New+Info)

## ホームページで動画を利用する

今回は、小さな会社での事例も少しずつ増えてきたホームページでの動画の活用について取り上げます。

### ▼動画とは

ビデオなど動きのある画像を使ったコンテンツのことです。

これまでも動きのあるコンテンツとしては、Flash などを利用したアニメーションはありました。

最近の動画は、テレビで見るのと同じレベルのビデオ画像を使った形式のものがアニメーションよりも多くなっています。

### ▼動画利用が進む背景

少し前まではホームページは文字が中心でそれを補うように画像などを利用するケースがほとんど

でした。

一部実験的な意味で動画を使っているところもありましたが、大手企業のプロモーションなど先進事例など特殊なケースがほとんどです。

この背景には、通信環境の変化があります。5、6年前までは通信回線やサーバーの容量など閲覧環境に制限があり、誰でも動画を配信、再生できる訳ではありませんでした。

ところが、その後急速に進んだブロードバンド化のおかげで、いまでは多くの人が気軽に動画を配信 ¥ 再生できる環境を手に入れることができます。

最近のインターネットの調査結果を見ても、動画に関するサービスを提供しているサイトが上位にランキングされるなど、大きな関心

を集めています。

Youtube を始めとする無料の動画サービスが提供されるようになってからは、それまでの大手企業のプロモーションだけでなく、個人レベルの趣味情報の発信にも利用されるようになってきました。そしてこの動きは中小企業にも広がってきています。集客や販売促進のツールとして動画を利用して、実際に成果をあげるようなケースが増えてきたのです。

では、動画をホームページで利用することによって、どのようなメリットがあるのでしょうか？

以降で説明してゆきます。



## 動画を使うことのメリット

### ▼圧倒的な情報量

情報を伝達する手段としては、文字、画像、音声などがありますが、動画の場合はこれらの手段に比べて圧倒的な情報量があります。

この動画の情報量によって、他の文字・静止画だけの表現と比べて、見た人には大きな印象を与えることができるのです。

ホームページで動画を利用するところが増えてきたとは言っても、まだまだ全体から見ればごく少数です。現状では**動画を提供していること自体がアドバンテージ**になっているとも言えます。

### ▼正確に伝えられる

経過や変化の様子を伝えるときなど、文字や写真だけでは非常に伝えにくい情報があります。

また、使い方など、文章だけでは意図した通りに理解してくれるとは必ずしも限りません。

古くから「**百聞は一見かず**」という言葉があるように、**見れば分かる**といったケースではとても威力を

発揮します。

### ▼情報提供の順序をコントロールできる

また、動画を使った情報提供では、従来の文字中心の情報提供とは異なり、情報を伝える順番をコントロールしやすいという特徴があります。

これは、通常のホームページコンテンツでは、多くの情報を伝えようとすると、どうしてもページそのものが長くなるか、ページを分割するといった対応になります。こうなってしまうと、情報発信者側が順番に読んで欲しいと思っても、「途中を読み飛ばす」「一部しか読まない」といったことが起きてしまうのです。

こうやって得られた一部の情報から、人は足りない部分を勝手に想像して判断してしまうので、期待した通りの成果が得られないということが起こるのです。

ところが、動画の場合は、情報の展開(ストーリー)をあらかじめ見ることができません。

このため発信者側が想定したシナリオに沿って、最初から順序だてて情報を受け取ることになります。

こうすることで、情報の受け手の心の中もある程度予想しやすくなり、反応を得やすくなるのです。

### ▼高い反応率

通販では、テレビショッピングで一定の反応が取れるのは、このような特徴・メリットを最大限に活かした作りになっているからです。

ホームページの動画でも、同じような成果を得ることができるのです。

こういった特徴を活かすことで、ホームページで高い「反応率」を得ることができるのです。



動画を使ったコンテンツの中でも、特に「人が説明する」ということに重点をおいた作られたものを区別して、

### PIP(Person in Presentation)

と呼ぶことがあります。

これは、商品やサービスに関する情報映像をただ流すのではなく、実際に映像の中で人が身振り手振りして説明し、ストーリー性を持った内容で構成されます。人は面と向かって(1対1)で説明されたことはとても印象に残りやすく、好印象を持ちやすい傾向にあるので、この特性をうまく利用した動画の使い方です。

この動画の制作には特殊な装置が必要になるので、まだそれほど多くありませんが注目されている技法の一つです。

OPIP のサンプル

<http://www.jstream.jp/pip/>

## ホームページの動画の特性

テレビなどで見る映像と異なり、次のような特性があります。

動画コンテンツを作成する際には、このような点にも注意が必要です。

- 個人で見るケースが多い
- 短時間(せいぜい3～5分程度)
  - 特にビジネスで利用する場合には、再生を途中で停止されない程度の長さにおかないと意味がありません。
- 画面のサイズが小さい

パソコンの全画面に拡大して見ることもできますが、多くの場合は画面全体の1/9～1/4程度の大きさです。そのサイズで見ても分かるような撮り方、画質でないと代えて悪い印象を与えてしまいます。

### ▼ファイルの種類

現在ホームページで利用される動画ファイルの形式は大きく次の3種類があります。

それぞれ一長一短があるので、その点を理解して選択しましょう。

名称	特徴
ウインドウズビデオ (WMV)	Microsoft 標準のビデオ形式です。Windows では再生するためソフトは不要です。編集ツールも多く、費用をかせずに利用することができます。ただし、Mac ユーザーは閲覧することができません。
クイックタイム (MOV)	Apple 標準のビデオ形式です。Mac ユーザーには編集を含めてとても利用しやすい形式です。Windows で再生するためには、プレーヤーのインストールが必要です。
フラッシュビデオ (FLV)	再生には Flash を必要としますが、Windows/Mac 双方のユーザーが同じように再生できます。Youtube を始め多くの動画サービスサイトで採用されている形式です。この形式に変換するためにはツールが必要ですが、動画サイトで変換してくれるケースもあり、この場合はツールは不要です。

## 動画を使うためには

ホームページで動画を利用するためには、大きく次のような作業が必要になります。

### ① 動画の撮影

まずは動画の素材となる映像の撮影が必要になります。もちろん過去に撮影したものをすることもできます。

専門の業者に頼んでも良いのですが、最近のムービーカメラは性能も高く、またパソコンに取り込みやすくなっているため、これらを利用することができます。

撮影した映像はパソコンに取り込んで以降の作業の準備に備えます。

### ② 編集する

必要に応じて、撮影した動画を編集します。

編集にはツールが必要になりますが、最近では個人向けのビデオ編集ツールでもかなりいろいろなことができるようになっています。

### ③ ホームページで配信する形式に変換する

編集が終わった段階では、ビデオのサイズは巨大でブロードバンドであってもホームページで流すには容量が大きすぎるものがほとんどです。このため、ビデオの形式を配信に最適なサイズになるよう変換します。

### ④ ホームページに掲載する

変換したビデオファイルをサーバーにアップしてホームページを編集すれば完了です。

この際に、Youtube など動画サービスサイトを利用すると、変換作業やホームページへの掲載作業を簡略化することができます。

#### ▼注意点

Youtube、ニコニコ動画など、無料の動画サービスを提供しているサイトは、現在その収益モデルの構築に苦慮しています。このため、将来的も無料で現在同等のレベルのサービスが継続される保証が無いことを理解しておく必要があります。

## 動画の活用事例

ホームページでの動画の利用方法はいろいろあります。

テレビショッピングのように商品案内から販売までを行うようなケースもあれば、製品の使い方や製品を使った作り方(レシピ)などを見せる、実際の製造現場や施行の様子を見せる、セミナーの抜粋を見せるなど、工夫次第でいろいろな情報を提供できます。

・(例)機械の動作映像

<http://www.webquick.jp/c/v0907.html>

ここでは、私の友人で動画を活用したホームページで実際に成果をあげる事例について説明します。

#### ▼トータル・イマージョン・スイミング

トータル・イマージョンでは、体系化された水泳の練習方法に基づいて、ワークショップや教材を販売しています。ホームページでは、当初から動画を積極的に取り入れています。

泳ぎ方の違いを文章だけで説明するは極めて難しいのですが、泳ぎそのものを見せることでこの課題をクリアしています。

さらに、その映像を実際に見た人は従来の泳ぎ方とはあまりにも違いに大きな印象を受けるため、好奇心をより高められた状態になり、他の情報も参照されるようになります。

動画は教材の一部を紹介する役割も持っています。

中身の一部を見せることで、購入の際に感じるリスクを低減させ、買いやすくさせているのです。

この動画配信では Youtube を利用していますが、この仕組みをうまく利用することで、アクセスも獲得しています。

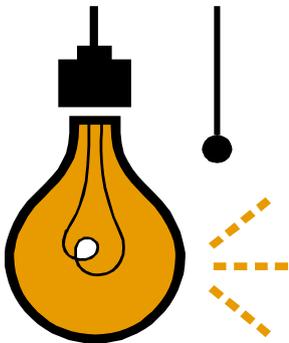
ビデオの活用は集客だけでなく、ワークショップ受講者のフォロービデオを配信するなど顧客向けのサービスにも力を入れています。

また、代表者自らが映像に登場することによって信頼感を与えることにも結びついています。

・トータル・イマージョン・スイミング

<http://www.tiswim.jp>

## ワンポイント解説 ストリーミングとダウンロード



動画コンテンツを配信する仕組みには「ストリーミング」と「ダウンロード」という2種類の方式があります。

動画の配信というと、必ず「ストリーミング」方式だと思っている方も実は少なくありません。

ストリーミングというのは、動画サーバーと再生するソフトの間でやりとりをしながら最適なデータを送信する方式です。通信回線の混雑状況に応じて、送信するデータのサイズなどを変更するので、すぐに再生できる、再生が途切れにくいといった特徴があり、大勢の人がアクセスしても問題がおきにくいようになります。配信された映像がパソコンに保存されないという特徴もあります。

このストリーミングを利用するためには専用のシステムが必要なため、一般的なレンタルサーバーに標準で用意されていることはほとんどありません。ストリーミング専用のレンタルサーバーや専用のサービスを利用して動画を配信することが多いです。

一方、ダウンロードは、PDFファイルや Word、Excel のようなファイルと同じように、サーバーから送信された動画ファイルをそのままブラウザで受信して再生するという仕組みです。昔は、ファイル全部がダウンロードされたから再生がスタートしたのですが、現在ではファイルの一部がダウンロードされた時点で再生が始まりますので、見かけ上はストリーミングと差を感じないこと

も多くなっています。

また、特に難しい設定や設備・システムなどは必要なく、一般的なレンタルサーバーで利用できます。

Youtube など大手の動画サイトが採用しているのは、ストリーミング方式ですが、大手企業以外のホームページの動画コンテンツは、手軽に利用できるダウンロード方式で配信されています。ケースが圧倒的に多くなっています。

中小企業で自社のサーバーに動画を格納する場合は、よほど集中したアクセスが予想される場合でない限りダウンロード方式で問題ありません。

株式会社ピーシー・ブレイン

〒270-2253  
千葉県松戸市日暮 1-2-6  
勝どきビル3F

電話番号  
047-311-6677

Fax  
047-311-6678

E-mail  
info@pcbrain.co.jp

営業時間:  
9:00～17:30

地域で一番ネットを使った商売に  
詳しいコンサルティング企業

- Web マーケティングコンサル
- ネット集客支援
- ホームページ制作
- SEO リニューアル
- WEB システム開発



当社 Web サイト

URL:  
http://www.pcbrain.co.jp  
http://www.webquick.jp



# お知らせ

## ■SEO 対策の第一歩、あなたのホームページの SEO 実力を診断しませんか？

SEO 対策に悩んでいる、対策したいのだが具体的にどうすれば良いかが分からない・・・そんな悩みをよく耳にします。SEO 対策を効率的に進めていくためには、闇雲に何かをやってみるのではなく、まずは何より“現状分析”して状況をしっかりと把握することが大切です。このような悩みを持っていませんか？



- ✓ いろいろな努力を重ねて SEO 対策に取り組んでいるのに、順位がなかなか上がらない。
- ✓ 現状、どうい対策を取るのが一番有効なのか？弱い部分はどこなのか？
- ✓ SEO 対策としてどの程度完成しているのか？

私たちは制作の際に SEO 対策を実施する前には、必ず現状分析を行います。このレポートを手に入れて、あなたも次のようなメリットを手に入ってください

- ✓ 現状、どうい対策を取るのが一番有効なのか？弱い部分はどこなのかが分かります。
- ✓ SEO 対策としてどの程度完成しているのかが分かります
- ✓ SEO 対策による改善が期待できることが分かります

詳しくは担当または、ホームページへ ☞ <http://www.webquick.jp/c/seodiag.html>

## ■ホームページを定期的に更新しましょう

- ✓ 新製品・新サービスを取り扱っているのだがホームページが古いまま
- ✓ 新しい店舗、スタッフの情報も書き換えたいけど古いまま・・・
- ✓ ホームページもパソコンも詳しいスタッフがなくて困っている

そんな悩みをお持ちの方に会員制のホームページ更新 & サポートサービスの提供を開始しました。詳しい内容・資料については、いますぐ弊社担当者までご連絡・ご相談ください。

## ■低コストで売上アップ！ ホームページ活用に役立つガイドブックを無料プレゼント ～ かんたんに更新できる企業ホームページの作り方 ～

更新費用を抑えつつ売上アップにつながるホームページの作成方法が分かるガイドブックが今なら無料で手に入ります。A4 ページ2段組で 41 ページ、単行本にすると一冊に相当するだけのボリュームをもったガイドブックです。インターネットビジネスに必要な「ホームページ活用のエッセンス」を凝縮していますので、これを一冊読めば、他の書籍を読む必要はありません！



いまならこのガイドブック(製本版は有料:1500円・税込・送料込)を無料でプレゼントしています。

ご希望の方は、いますぐ担当者にご連絡いただくか、次のページからお申込みください。

<http://www.webquick.jp/c/guidebook.html>  
他にも以下の役に立つ情報冊子を用意しておりますので、こちらも併せてご請求ください。

- ◇自分で更新できる SEO 対策
- ◇集客ホームページ作成講座(基礎編)
- ◇ホームページ関連サービスのご紹介



# あとながき

今回は、動画というコンテンツに焦点をあててみましたが、いかがだったでしょうか？最近ではネットサーフィンでホームページを見る代わりに、Youtube やニコニコ動画などのサイトでおもしろそうな動画を探して見るような行動も結構流行っているようです。動画という性格上、テレビなどのメディアで紹介されることも多いのも、流行る利用の一つかも知れませんね。(高山)

ニュースレターを讀んでの感想、取り上げて欲しいテーマ、相談など、ぜひご意見をお聞かせ下さい！  
→ FAX:047-311-6678 / 電子メール: info@pcbrain.co.jp

## 株式会社ピーシー・ブレイン

発行責任者: 高山卓巳  
〒270-2253 千葉県松戸市日暮1-2-6 勝どきビル3F

TEL: 047-311-6677 FAX: 047-311-6678 Email: info@pcbrain.co.jp

